

ケサンラによる治療を受けている方へ

RMP



この患者カードを携帯し、他の医療機関を受診される際は、
医師・薬剤師などにこのカードを提示してください。

頭痛、吐き気・嘔吐、めまい、けいれん(手足のふるえ)、手足が動かない、見えづらくなった、言葉がでない等の症状があらわれた場合、ARIA(脳のむくみや脳の一部の出血などの画像所見)や脳出血に関連する症状の可能性があるため、ケサンラの治療を受けている病院に速やかに連絡して受診してください。ケサンラと下記のお薬と一緒に使用するときは、特に注意が必要です。

- **血栓ができるのを防ぐ薬** ワルファリンカリウム、アスピリン、クロピドグレル硫酸塩など
- **血栓を溶かす薬** アルテプラゼ(遺伝子組換え)など

医療従事者の方へ

- わたしはケサンラによる治療を行っています。(治療開始日20__年__月__日)
- ARIA(アミロイド関連画像異常)が疑われる場合は、MRI検査を実施してください。
- ケサンラと抗血栓薬との併用により、ARIA-H(ARIA-脳微小出血・脳表ヘモジデリン沈着症)又は脳出血が起こる可能性があります、特に注意が必要です。
- ARIAと虚血性脳卒中は類似した局所神経脱落症候を呈する場合があります。虚血性脳卒中に対する血栓溶解療法を行う前に、これらの症候がARIAによるものである可能性を考慮し、MRI検査の実施をご検討ください。
- ARIAが疑われる場合、抗血栓薬による治療が必要な場合は、下記の医療機関連絡先までご連絡ください。

医療機関連絡先

日本イーライリリー株式会社

KSL-N002(R2) 2026年6月作成